

2022年10月25日

報道関係各位

GMO あおぞらネット銀行株式会社

お客さまに寄り添い、共に成長していく 次世代型テックバンクとして 中長期戦略の取組状況

GMO あおぞらネット銀行株式会社（以下、当社）は、2021年7月6日に、中長期経営戦略に3つの大きな柱を掲げることを発表しております。本プレスリリースは、戦略発表から1年を経過し、9月末の2022年度中間決算開示を迎えることから、実施施策とその成果について公表するものです。

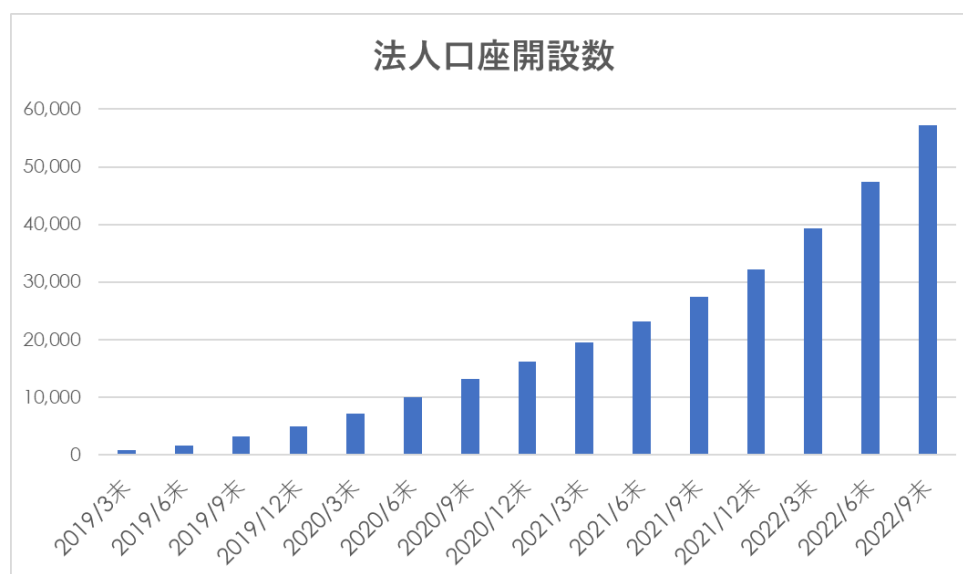
中長期経営戦略で掲げた3つの柱

01	スモール&スタートアップ向け銀行	Nō.1
02	組込型金融サービス	Nō.1
03	テックファーストな銀行	Nō.1

01 スモール&スタートアップ向け銀行 Nō.1

実施施策1：口座開設

中長期戦略において、法人のお客さまに軸足を置いたサービスの提供を行うことを決定以降、法人のお客さま向けのサービスの新規投入、改修を行った結果、2022年9月末時点で当社にご開設いただいた法人口座は57,000口座を超えております。



直接、口座開設につながる施策としては、freee 株式会社の「freee 会社設立」との連携により、会社設立の準備段階から法人口座の開設申込が行える「設立前口座開設申込」機能の提供を開始しており、これまでに前例のない、画期的なサービスだとご評価いただいております。

実施施策 2 : 法人融資

創業間もないスモール&スタートアップ企業のお客さまのニーズにお応えするため、法人口座に 10 万円の融資枠を標準装備した「**あんしん 10 万円**」を皮切りに、決算書不要で、オンラインでお申込からお借入まで完結する「**融資枠型ビジネスローン あんしんワイド**」の提供を開始しました。法人融資は、資金使途が限られていたり、融資枠ではなく実際の借入が必要であったりする融資商品が多い中、「融資枠型ビジネスローン あんしんワイド」は、オンライン完結で、最大 1,000 万円の融資枠が利用できるとして、開始からわずか 3 日で 200 件超のお申し込みをいただきました。2022 年 10 月 20 日時点で 2,000 件以上のご契約をいただいております、法人のお客さまに寄り添ったサービス性が受け入れられたものと考えております。

あんしんワイド

口座の入出金データで資金調達
必要な資金をいつでも借りられる
「**融資枠型ビジネスローン**」

金利	年利 0.9%~12.0%
借入限度額	最大 1,000万円

金利と借入限度額は審査のうえ決定します。
一部特約は年14.0%

実施施策 3 : デビットカード

事業開始当時より、当社ではキャッシュカード一体型のデビットカードの提供を行っております。日本ではクレジットカードが主流ですが、当社では利点の多いデビットカードの理解促進に向けた啓もうを行うことで、お客さまのデビットカードのご利用率を伸ばしてまいりました。特に法人のお客さまにご利用いただける「**ビジネスデビットカード**」は、審査なしで保有ができるうえ、追加口座ごとにデビットカード 1 枚発行により最大 20 枚のカード保有、合計 2 億円^(*)の高額決済にも対応可能です。加えて、ご利用金額の最大 1.0%^(**)がキャッシュバックされるため、仕入れや経費支払い、ネット広告などの販促費、クラウドサービスの利用料などにご利用いただいております。必要経費を支払ってキャッシュバックがあるうえ、経営者さまを経費管理やコスト削減の面からサポートする法人カードです。また、これまでの **Visa デビット**に加え、本年 10 月 17 日より、**Mastercard® デビット**の提供を開始しております。

(*) Mastercard デビットは、最大 20 枚まで発行可能で、当社審査によって、1 日の利用限度額を合計 2 億円（1,000 万円×20 枚）まで設定可能です。

(**) 税金や公共料金等一部キャッシュバック率が異なる利用先がございます。詳細は、下記参考 URL のページをご確認ください。



今なら
対象店舗のご利用で
最大 **1.5%**
現金還元

最大 **20 枚**
保有可能

1 日のご利用
可能金額
合計 **2 億円**
1,000 万×20 枚



今なら
対象店舗のご利用で
最大 **1.5%**
現金還元

最大 **20 枚**
保有可能

1 日のご利用
可能金額
合計 **1 億円**
500 万×20 枚

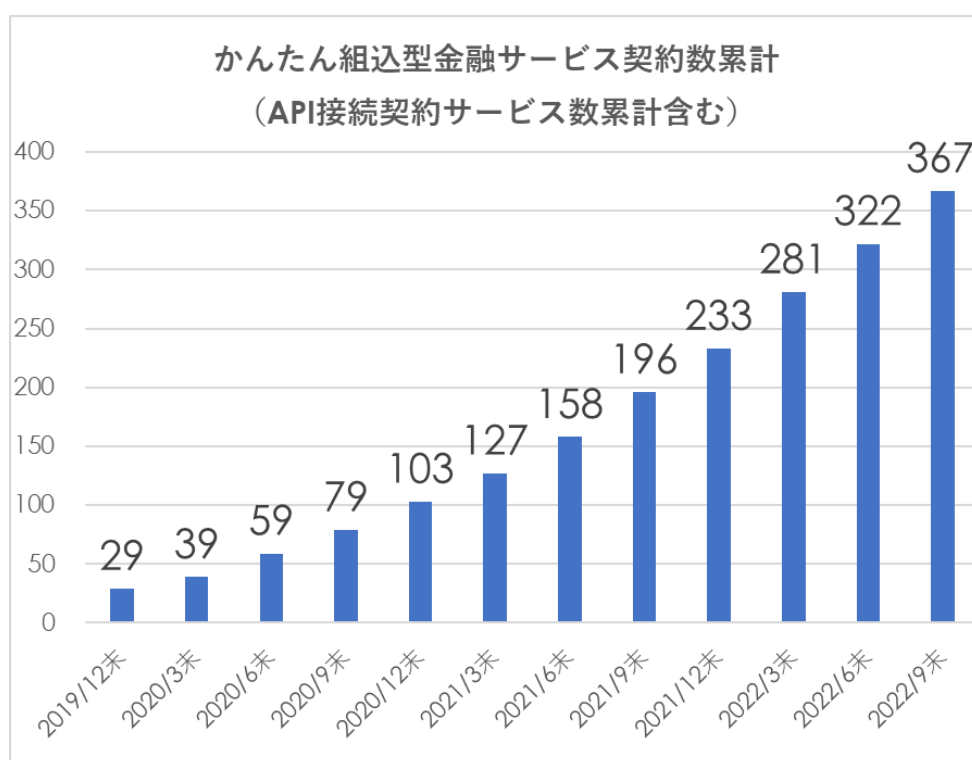
さらに本年 11 月には、法人のお客さまからの「会社のキャッシュフロー上、クレジットカードのように翌月一括払いで利用したい」というニーズを受け、デビットカード+融資枠という機能を組み合わせた「**後払いデビット機能**」の提供を予定しております。デビットカード=即時引き落とし、という通念を打ち破る画期的なサービスです。本機能では融資枠を利用することで、借入利率 0%、利用手数料 0 円でデビットカードのお支払いでも後払い可能となります。

02 組込型金融サービス No.1

実施施策 1：銀行 API/かんたん組込型金融サービス

当社の「**かんたん組込型金融サービス**」は、デジタルビジネスの領域で成長したい企業さま向けに、銀行機能をパーツとして提供するサービス部品の総称です。今年“組込型金融元年”と謳い、銀行とシステム連携できるということが認知されていないところから、地道に普及に向けた活動を続けております。結果、現在では「組込型金融・銀行 API」と言えば、GMO あおぞらネット銀行」と言われるほど、認知も高まっており、手ごたえを感じています。その結果「かんたん組込型金融サービス」の契約数累計は、367 契約（2022 年 9 月 30 日時点）となっております。

経理・給与振込業務の自動化はもちろんのこと、電子帳簿保存法（電帳法）やインボイス制度を受けて、請求書業務にかかる FinTech 事業者さまへの導入、動画配信サービスのライバー（配信者）への投げ銭の即現金化、ふるさと納税の寄付金の自動振込といった、多種多様な業種・事業規模のお客さまにご利用いただいています。



実施施策 2：組込型金融市場の活性化

日本における組込型金融サービスの普及・利用促進には、エコシステムの構築が必要であることに当社はいち早く気づき、各種施策を実践してまいりました。それが、無償なうえ、契約も不要で常時接続可能な API の実験環境「**sunabar (スナバー) -GMO あおぞらネット銀行 API 実験場-**」や、銀行機能のパーツを自由に出品・流通できる「**ichibar (イチバー) 組込型金融マーケットプレイス**」です。機能の提供だけでなく、エンジニアを中心としたイベントを実施することで、組込型金融による可能性を開いています。

さらに、組込型金融に特化した **ichibar ハッカソン**を開催し、参加者からは銀行 API への理解と、ビジネスチャンスを感じていただくこともできました。ハッカソンでは、デジタルイノベーションを生み出す可能性がある多くの作品が誕生しています。

〈組込型金融エコシステム〉



〈ハッカソンの様子〉



03 テックファーストな銀行 No.1

実施施策 1：エンジニアファーストな開発環境

当社は、自社のエンジニアによってシステム開発を内製化しているため、お客さまのニーズにお応えし、スピーディーに独自性のあるサービスを提供することができております。エンジニアが社内にいる銀行だからこそ実現できる、エンジニアと営業の密な連携によるお客さまに寄り添った柔軟なソリューション提案など、他社の追随を許さず、これからも「テックファーストな銀行 No.1」として走り続けてまいります。そのためには、当社のサービス開発の根幹を支え、各戦略の成長エンジンでもあるエンジニアの社員に占める比率を、現在の40%程度から将来的には50%にまで引き上げ、さらに成長を加速していくことが、経営上の重要なポイントだと考えており、引き続き、エンジニアファーストな開発環境の整備・提供に取り組んでまいります。

自らがエンジニアファーストな企業になる！
銀行“エンジニア集団”の構築



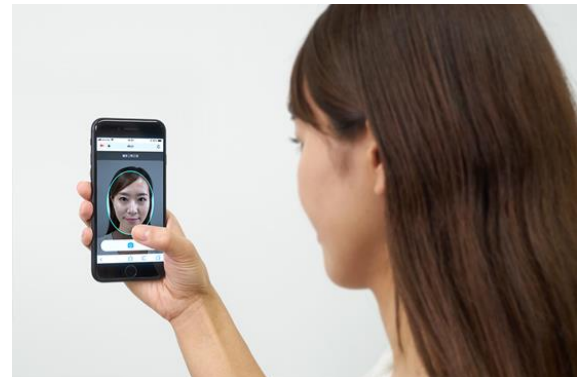
実施施策 2：テクノロジーを駆使したマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与の防止対策

銀行という公共性の高い事業者として、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与の防止対策の各種対策にテクノロジーを生かした施策に取り組んでいます。AI 技術を活用した口座不正モニタリングツール「AML AI スコアリングモデル」の開発や、株式会社 Liquid と連携によりセキュリティ強化と口座保有者の利便性を両立した「LIQUID Auth」の導入等がその代表です。

〈AML AI スコアリングモデル イメージ〉



〈LIQUID Auth イメージ〉



当社は、今後も“お客さまのビジネスの成長 = 当社の成長”として、共に成長する銀行であるべく、当社のビジョン、ミッションの達成に向け、尽力してまいります。

Vision

「すべてはお客さまのために。No.1 テクノロジーバンクを目指して

私たちは、お客さまのため、テクノロジー、独自の着眼点、幅広い手段、頭脳、ネットワークを結集させ、
固定観念にとらわれない先進的な銀行を目指します

Mission Statement

1. 高い倫理観を持ち、社会的責任を果たす。

私たちは、お客さまに支持され信頼される銀行であり続けるために、常に高い倫理観を持って行動します。
また、すべてのステークホルダーに対する責任を果たし、社会の発展に貢献します。

2. お客さまのために、No.1 主義を貫く。

私たちは、商品性、スペック、価格、サポートすべてにおいて No.1 を目指し、求められるサービスの実現にまい進します。
No.1 にこだわり、お客さまの満足の向上に努め、お客さまから選ばれる銀行になります。

3. 志をもって、進化し続ける。

私たちは、社会の変化をいち早くとらえ、お客さまにニーズに合ったサービスを革新的なテクノロジーを駆使して提供します。
自らが常に進化し続けることで、「安心」、「速さ」、「安さ」、「便利さ」、「新体験」の5つの価値をお客さまにお届けします。

【GMO あおぞらネット銀行株式会社について】

「すべてはお客さまのために。No.1 テクノロジーバンクを目指して」をコーポレートビジョンに掲げ、新しいネット銀行として2018年7月に誕生しました。システム開発を内製化することで、お客さまに寄り添った金融・決済サービスをスピード感をもって提供しています。オンラインでの口座開設申込や、申込から利用開始までのスピード、各種手数料の安さ、利便性の高い資金調達サービス、銀行 API の充実などを理由に、スモール&スタートアップ企業のお客さまを中心にご利用が急増していることを受け、中長期の戦略として3つの大きな柱「1.スモール&スタートアップ企業向け銀行

No.1]、「2.組込型金融サービス No.1」、「3.テックファーストな銀行 No.1」を掲げ、“お客さまのビジネスの成長＝当社の成長”として、共に成長する銀行であるべく、当社一同、新たなシステムの開発や、サービスの提供などに向けて邁進しております。

【参考 URL】

あんしん 10 万円	https://gmo-aozora.com/business/financing/anshin10.html
あんしんワイド	https://gmo-aozora.com/business/financing/anshinwide.html
「設立前口座開設申込」機能	https://gmo-aozora.com/business/news/2022/20220406-02.html
ビジネスデビットカード	https://gmo-aozora.com/business/service/card.html
かんたん組込型金融サービス	https://gmo-aozora.com/pfbank/
sunabar-GMO あおぞらネット銀行 API 実験場-	https://gmo-aozora.com/pfbank/sunabar/
ichibar 組込型金融サービスマーケットプレイス	https://gmo-aozora.com/pfbank/ichibar/
ichibar ハッカソン	https://gmo-aozora.com/business/news/2022/20220530-01.html
AML AI スコアリングモデル	https://gmo-aozora.com/business/news/2022/20221003-01.html
LIQUID Auth 業界初導入	https://gmo-aozora.com/news/2022/20220824-01.html

【GMO あおぞらネット銀行株式会社 会社概要】

本店：東京都渋谷区道玄坂 1-2-3 渋谷フクラス

代表者：代表取締役会長 金子 岳人、代表取締役社長 山根 武

資本金：172 億 9,003 万円

設立年月日：1994 年 2 月 28 日

URL：<https://gmo-aozora.com/>

以上